

# CANVAS(キャンバス)

平成28年6月1日発行

内海中学校 第1学年

学年通信 第3号

## 学級遠足でもみせた「まとまり」



名古屋市港防災センターにて



名古屋港水族館にて



「カルガモ」のような靴の列

5月13日に学級遠足で、名古屋市内に研修に行きました。名鉄電車では満員電車で揺られながら通勤の人に席を譲ったり、お互いに交代して座ったりと思いやりのある行動が目につきました。金山駅では前の人と少しでも離れると走って追いかける、「カルガモ」のような動きがかわいかったです。右上の写真は、港防災センターで3D映像を見たときに、生徒達が靴を脱いだ様子です。指示をしなくても自然にこのような整頓ができるのは、内中生のとてもよいところだと思います。港防災センター～名古屋港水族館～ボストン美術館(金山駅)は生活班で行動しましたが、マイワシやイルカのショーも班全員がまとまって座る姿は、「仲がよくまとまりのよい集団」を改めて感じさせるものでした。今後の行事でも、すてきな姿を見せてくれることを楽しみにしています。

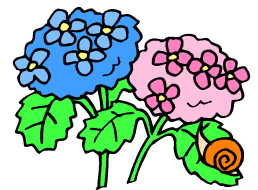
### 6月の予定

3日(金)～5日(日)2年生林間学校 [6日(月)～7日(火)2年生代休]

11日(土)町中学校体育大会 12日(日)内海地区クリーン作戦

14日(火)午前中授業、午後自宅学習 22日(水)風水害避難訓練・非常食喫食体験

22日(水)～24日(金)期末テスト 29日(水)学校保健委員会



7月1日(金)水泳指導 7月4日(月)水泳指導

7月11日(月)～13日(水)個人懇談会 7月20日(水)終業式

### あけぼのタイム・学級遠足

あけぼのタイムのテーマ「守ろう・生かそう・考えよう！人・町・内海！」に沿って、「防災」や「生き方」について一人一人がテーマをもち、学級遠足にも取り組みました。その成果を学校祭で発表できるように、まとめと発表方法について考えていきます。

### 新しい仲間が増えました

★5月28日(土)～6月17日(金)に教育実習の先生が2名みえます

教師を目指す若い先生が、教育実習に2名みえています。数学科の星崎将人と保健体育科の竹田晃大先生です。1年A組と一緒に生活しますので、2人の夢をもち目標をもってがんばる姿から、勉強以外にもいろいろなことが学べるといいですね。初日からみんな(特に男子)に囲まれて幸せそうでした。

## クレペリン検査より

4月に行われたクレペリン検査の結果を配りました。結果の個票には、次の4つのポイントについて書かれています。

- ①結果から見たあなたは「感性が豊かで…。シャイなところもあるため、周囲の応援が必要…。」
- ②ココロを科学する。「誰でも短所はありますが、…。見方を変えれば「よく気がつく人です。」
- ③自分のパワーアップのために。「人と話すときは、一呼吸おいて…。あなたの優しさが…。」
- ④凹んだときに。「本当に心が痛むときは、…。気持ちの整理をつけたいときは、…。」

「当たっている。」「当たっていない。」だけではなく、自分が気付かなかった持ち味や自分のよさを伸ばすとともに、自分を知ること、周りの人とのよい人間関係を築く参考にしていってください。

## クレペリン検査からみる1年生の持ち味

「持ち味」は十人十色で、それ自体によい悪いはありません。それぞれの色を鮮やかに出せるかどうか「持ち味発揮の状態」として分析されています。

### 【1年生の状態】

持ち味 …こだわりが強く一途なタイプ(32%)、明朗な外向型タイプ(24%)が多い。本来バイタリティーに富んだ集団であるが、エネルギーがすっきり発散されずに、不充足感をためていたり、そのときの感情がストレートに言動に表れたりする。

発揮の状態…まだまだ視野が狭く、やる気にも偏りがあるため、集団としてまとまりにくい。指示が伝わりにくく、習熟が滞りやすい。

### 【検査の結果を受けて】

4月からの様子を見てみると、全員の意識が同じ方向を見ているときには勢いがあり、集団としてのまとまりを非常に感じます。クレペリンテストは、数字を単純に足していくテストですので、生徒により意欲が偏ったのではないかと思います。全体的に見るとまだまだ幼く、学校や家庭でのサポート次第で大きく成長していく可能性があります。そこで、この集団が飛躍していくためには、

- ① 一人一人の個性を認め、基本的なことからしっかりと援助する。
- ② 根気よく、繰り返し指導する。
- ③ 目標や具体的な方法を示して、やる気を伸ばす。

ことが大切であると感じます。

一人一人の生徒のがんばりも大切ですが、周りもしっかり応援していきましょう。

## 教育相談・生活の様子から

5月中旬に教育相談を実施し、生徒と個別に話し合いました。大なり小なり、悩みを抱えている生徒がいることが分かりました。しかし、中学生という多感な時期は、思い悩む時期だと思えます。悩んだ分だけ成長できるし、優しくなれると思えます。そして、私たち教師は、悩んでいる生徒と寄り添い、支援できればと考えています。

入学式から約2ヶ月が過ぎ、生徒も中学校生活に慣れてきました。生活面では、かばんの整理整頓や、机の中・トイレのスリッパの整頓などを注意しました。細かい部分ではありますが、身の回りの事をきちんとして、自立した大人への階段を少しずつ歩んでほしいと思っています。(横山)

## 中間テストが終わりました

中学生になって最初の定期テストを終えましたが、結果はどうだったでしょうか。それぞれが様々な思いで結果を受けとめていると思います。努力は必ず結果に表れます。自分自身の勉強の成果が数字に出たと思って間違いはないはずです。中には一生懸命頑張ったけど、結果には満足できない人もいるかもしれません。その場合は、自分の勉強の仕方をもう一度見直してみましょう。自分に合った効率の良いやり方があるはずです。日頃の継続した学習が、勉強法を確立する一番の近道です。(山田)